

# 令和7年度 駿河台こども園 教育活動等に対する教職員自己評価

令和7年12月19日

1 こども園の教育目標 … 明るく素直な子

思いやりのある子  
進んで遊ぶ子  
考えて遊ぶ子

2 本年度の重点目標 … 笑顔あふれる安心の基地

※評価基準 4(はい、そう思う)・3(大体当てはまる)・2(あまり当てはまらない)・1(いいえ、そう思わない)・0(無回答・該当外)  
(No. 1)

評価対象	評価項目	自己評価						回答数(0を除く)	評価点	R6評価点	R5評価点
		4	3	2	1	0					
1. 教育・保育の計画性	①園の教育理念・教育方針を理解している	7	30	0	0	0	37	3.19	3.19	3.16	
	②認定こども園教育・保育要領の理解に努めている	9	26	2	0	0	37	3.19	3.12	3.11	
	③園の教育目標や教育・保育要領を元に教育課程や指導計画を立てている	10	18	0	1	8	29	3.28	3.28	3.22	
	④乳幼児の発達段階や実態などをベースに、歳児ごとの指導計画を考え作成している	12	16	0	0	9	28	3.43	3.52	3.42	
	⑤こどもの生活や動き・思いを大切に環境構成を工夫している	13	20	0	0	4	33	3.39	3.12	3.35	
	⑥幼児期の終わりまでに育てたい10の姿や小学校との連携・接続(架け橋カリキュラム等)を意識している	27	5	3	0	2	35	3.69	2.94	3.00	
2. 保育の在り方・子どもへの対応	①朝の登園時には特に視診を大切に、こどもの体調が悪くないか確かめている	27	7	0	0	3	34	3.79	3.65	3.70	
	②一人ひとりの思いを大切に受け止め、個に応じた支援を心がけている	16	20	0	0	1	36	3.44	3.41	3.47	
	③遊びこめるような環境や時間への配慮をし、こどもの自主性・自発性を大切にしている	10	24	0	0	3	34	3.29	3.21	3.22	
	④行事や活動を通して、子ども同士のかかわりや異年齢児との交流を大切にしている	14	19	1	0	3	34	3.38	3.3	3.37	
	⑤教職員全員が、全園児について理解していくように工夫や努力をしている	11	24	1	0	1	36	3.28	3.06	3.13	
	⑥支援の必要な園児の教育・保育について、定期的に話し合う機会を設け、個に応じた個別の支援計画を立てている	8	23	0	0	6	31	3.26	3.13	2.97	
	⑦不適切な保育とならないように、定期的にチェックや話し合う機会を設け、こどもの最善の利益を尊重した教育・保育に努めている	8	25	1	0	3	34	3.21	3.15	3.16	
3. 教職員としての能力や良識・適正	①教職員としての話す力や聞く力の向上を意識している	8	25	3	0	1	36	3.14	3.06	3.00	
	②こどもや、保護者との対応には、公平さを欠かさないように平等に接している	20	16	1	0	0	37	3.51	3.5	3.50	
	③自らの健康に配慮し、爪が伸びていないか等、保育上での安全性にも気をつけている	25	11	1	0	0	37	3.65	3.65	3.63	

評価対象	評価項目	自己評価						評価点	R6評価点	R5評価点
		4	3	2	1	0	回答数(0を除く)			
3. 教職員としての能力や良識・適正	④教職員同士のコミュニケーションを円滑にし、片寄った人間関係を作らないようにしている	13	23	0	1	0	37	3.30	3.24	3.16
	⑤こどものささやかな成長を見取り、それを喜ぶことができる	27	10	0	0	0	37	3.73	3.85	3.76
	⑥園のこどものことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある	7	25	5	0	0	37	3.05	2.88	3.13
4. 保護者への対応	①こどもの様子や園情報は、直接話したり、電話・連絡帳等を使ったりして保護者に適切に伝える	18	14	0	0	5	32	3.56	3.39	3.47
	②保護者との会話は、正しい日本語・敬語で語りかけ、相手の話には謙虚に耳を傾けている	8	26	2	0	1	36	3.17	3.18	3.32
	③園児や保護者の個人情報の管理については園の方針に従い、情報が流失しないようにしている	33	4	0	0	0	37	3.89	3.82	3.87
	④保護者からの具体的な意見・要望には適切に対応し、上司に連絡・報告・相談をする	26	9	0	0	2	35	3.74	3.65	3.59
5. 地域の自然や社会との関わり	①園へ見学に来た人に、園の教育方針等を質問されても、きちんと答えることができる	2	21	13	0	1	36	2.69	2.79	2.84
	②こどもの教育のために、利用したい地域の施設や機関、素材について理解している	3	15	18	0	1	36	2.58	2.65	2.73
	③地域開放や子育て支援について、具体的な内容を理解している	1	19	16	0	1	36	2.58	2.65	2.54
6. 安心と安全	①ヒヤリハットの事例については振り返りを行い、大きな事故につながらないようにしている	18	19	0	0	0	37	3.49	3.52	3.47
	②安全点検、検食、訓練等は適正に実施対応し、安全意識・防災意識を高めている	12	24	0	0	1	36	3.33	3.59	3.42
	③健康で安全な生活を守り育てるために、感染症対策等に自ら取り組み、子どもや家庭への啓発に努めている	16	20	0	0	1	36	3.44	3.52	3.45
	④閉じ込め・置き去り・取り残などないように状況に応じ、点呼や人数確認を確実にしている	19	16	0	0	2	35	3.54	3.65	3.81
7. 研修と研究	①遊びと生活の専門性(職務の専門性)を高め、知識や技能を身につけるよう研修している	6	18	10	0	3	34	2.88	3.06	2.88
	②日々の実践を見合い、検討・反省・評価を加え、教育・保育の質の向上に繋げている	7	24	3	1	2	35	3.06	3.06	3.15
	③自分の教育・保育の在り方や悩みについて、同僚の教職員や上司等と話し合っている	11	19	5	0	2	35	3.17	3.24	3.13
	④専門知識や技能の他に、趣味や読書・ボランティア活動などにも関心を持っている	8	20	9	0	0	37	2.97	2.79	2.82
	⑤パソコンやタブレット・スマートフォンなどのICT機器を前向きに活用し、教育・保育の充実に努めている	7	17	9	1	3	34	2.88	2.79	2.92